



特別展覧会

「利根山 光人コレクション」展

ごあいさつ

聖徳学園の創立者である川並香順先生は、教育の基本として、何事も“実物に接すること”が大切であり、校舎は箱を建てるだけでなく、芸術的に香り高い環境にしなければならないと説いておられました。それを実行に移されたのが前学長の川並弘昭先生です。そして、これに賛同されたのが、画家であり、聖徳学園高等保育学校で教鞭をとられていた利根山光人先生です。利根山先生はその教育環境づくりの一環として大学構内に壁画を制作しました。その作品の第一号が、川並弘昭記念図書館のエントランスホールにある壁画「若さ」です。澆刺とした元気いっぱいの学生の集まりから、その名がつけられました。その後も数多くの作品を制作され、「聖徳学園美術の園」と称されるまでの基礎を築き上げられました。

利根山光人先生は1973年には紺綬褒章を受章され、1981年に第6回吉田五十八賞を受賞、1985年に第17回日本芸術大賞を受賞されました。そして日本の画壇に不動の地位を築いた方でもあります。

今回は、利根山光人先生の絵画（油彩）の中から、ドン・キホーテシリーズの作品を中心に展示いたします。

この機会に永遠に生き続ける芸術作品の素晴らしさをご堪能ください。

平成25年6月10日



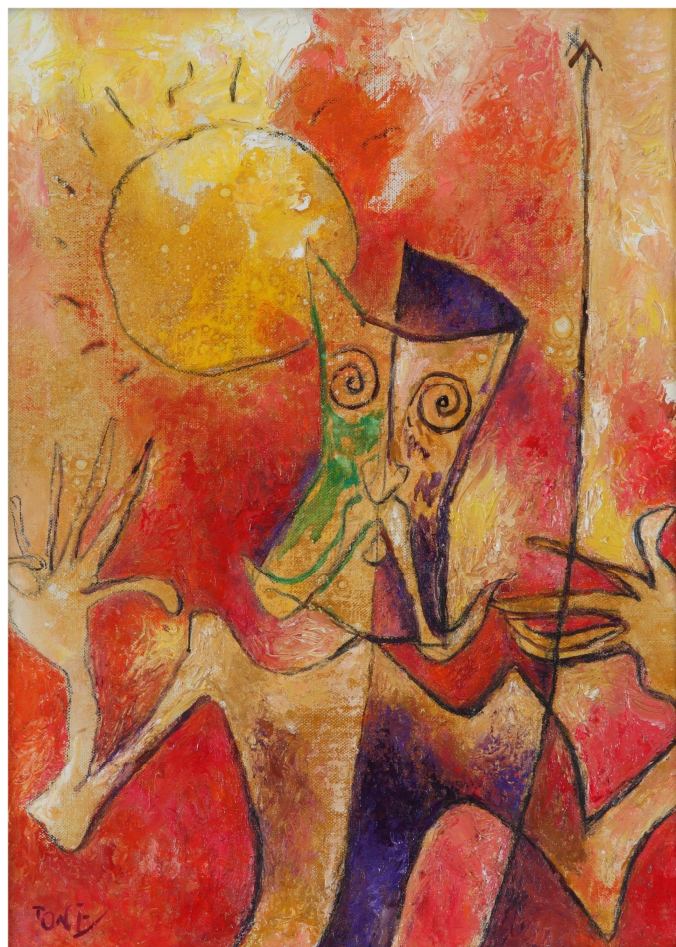
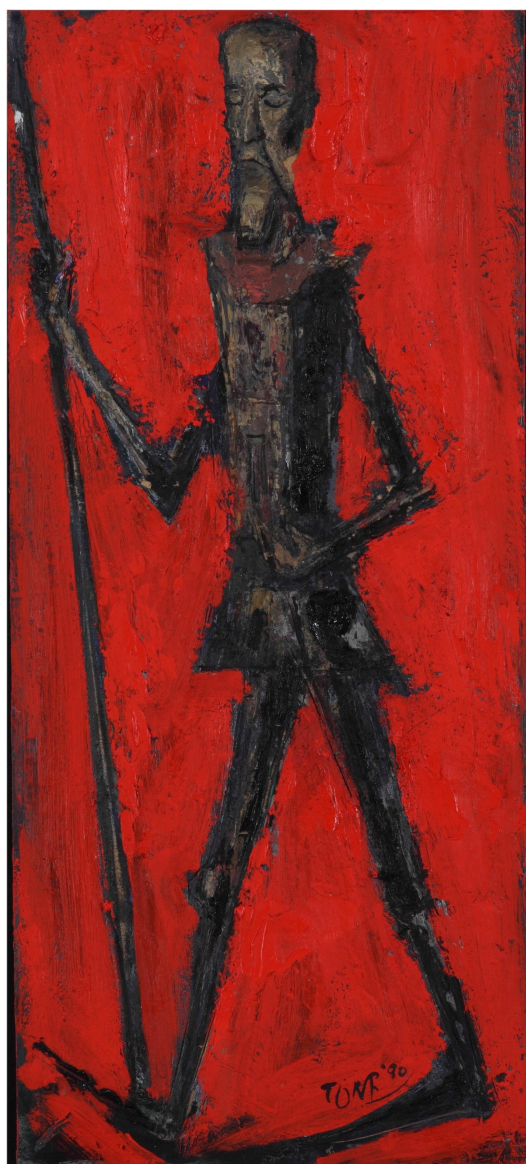
学校法人 東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並 弘 純



「EL SOL(太陽)」 1982 年



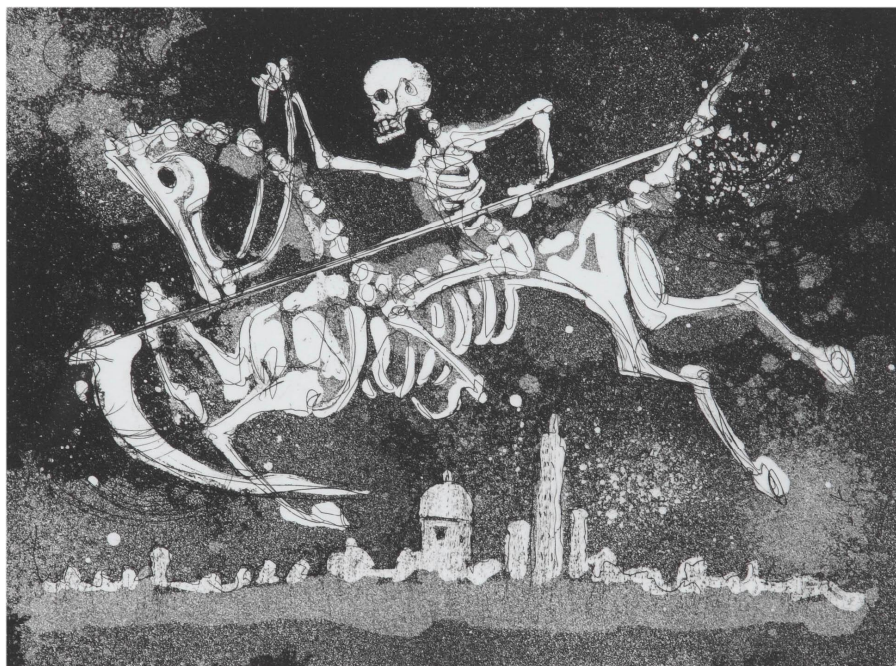
「炎 天」 1987～92 年



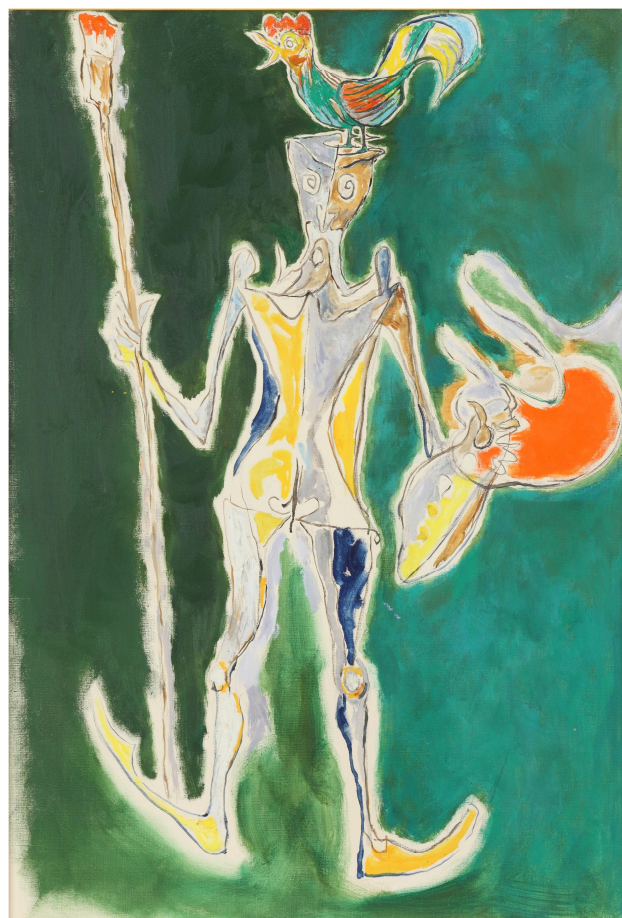
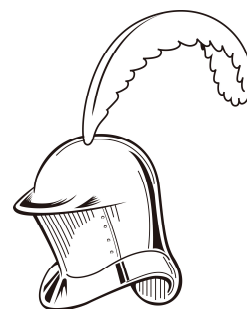
「狂 気」 1987 年

「老騎士」 1990 年





「失 題」



「自画像」 1992～93 年



「ドン・キホーテ(石版画)」



利根山光人先生年表

- 1921（大正 10）年（ 0 歳）：9月19日茨城県結城市に6人兄弟の末子として生まれる。
小学校の頃、蔵の中の古い書画を見つけて夢中で模写する。
- 1934（昭和 9）年（13 歳）：下妻中学校に進学。どこかに良い絵があると聞けば押しかけて掛け軸を見せてもらう。目利きとなり、評判を聞いた人が書画の鑑定を頼みにやって来るようになる。
- 1939（昭和 14）年（18 歳）：早稲田大学高等師範部国語漢文科に入学する。
- 1943（昭和 18）年（22 歳）：早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。静岡の農業学校に教師として勤める。
- 1945（昭和 20）年（24 歳）：1月栃木県烏山女学校に国語の教師として勤める。5月召集令状により、水戸37部隊に入隊。8月終戦。10月、彌恵子夫人と結婚。烏山女学校を退職、上京。
- 1948（昭和 23）年（27 歳）：早稲田大学より石版印刷機を譲りうける。
- 1954（昭和 29）年（33 歳）：イリゼ・グリリー女史により、ジャパントイズムその他で大きく取り上げられる。この頃教員生活から去り、画業に専念する。
- 1955（昭和 30）年（34 歳）：メキシコ美術展（東京国立博物館）を見て感動、「利根山光人石版画集」刊行。
- 1959（昭和 34）年（38 歳）：日本版画協会会員になる。5月〜古代遺跡の美を求めてメキシコに渡る。
- 1960（昭和 35）年（39 歳）：メキシコの帰途、ヨーロッパ各地、インドを廻る。その間にアルタミラ洞窟、ラスコー洞窟などを見学。聖徳学園高等保育科の講師になる。
- 1962（昭和 37）年（41 歳）：マヤ拓本採集のため、秘境ボナンバク及びパレンケ遺跡、ユカタン半島のマヤ遺跡を訪ねる。
- 1965（昭和 40）年（44 歳）：聖徳学園短期大学キャンパスの建築にかかわる色彩計画、装飾、壁画を手がける。聖徳大学1号館玄関に聖徳学園壁画第1号として、モザイクタイル壁画「若さ」制作。
- 1966（昭和 41）年（45 歳）：聖徳大学6号館、陶版壁画「太陽」制作。これより先、聖徳大学、附属学校に次々と壁画、レリーフを制作。
- 1970（昭和 45）年（49 歳）：パレンケで発見されたマヤの秘宝「ヒスイのマスク」の国外出品の特別許可をメキシコ大統領より得る。後に日本における最初のマヤ文明展（日本橋三越）（1972.8.8〜20）を実現する。
- 1972（昭和 47）年（51 歳）：メキシコ政府よりアギラ・アステカ・エンコミエンダ章受章。
- 1973（昭和 48）年（52 歳）：紺綬褒章受章。朝日新聞連載、松本清張作「火の回路」（6.16〜1974.10.13）の挿絵担当。イランに取材旅行。
- 1978（昭和 53）年（57 歳）：2.5NHK「日曜美術館・マヤ遺跡」に出演。
- 1979（昭和 54）年（58 歳）：9月愛媛新聞主催「利根山光人の世界」いよてつそごうで開催。
- 1981（昭和 56）年（60 歳）：聖徳学園川並記念講堂の緞帳「無限」に対して、第6回吉田五十八賞受賞（建築美術部門）
- 1982（昭和 57）年（61 歳）：聖徳学園セミナーハウス山中湖荘、モザイクスタイル「宇宙」、ステンドグラス「夜」「昼」制作。3.2〜29メキシコ訪問。12.23〜31中国訪問。
- 1983（昭和 58）年（62 歳）：6.19〜7.1スペイン訪問。7.15〜8.3フランス訪問。11.3NHK「日曜美術館、私とミロ」に出演。
- 1985（昭和 60）年（64 歳）：5.17活力ある文明批評を内蔵した幅広い造形活動に対して、第17回日本芸術大賞受賞。7月から10月にかけて、メキシコ、インド訪問。
- 1986（昭和 61）年（65 歳）：インド訪問。5月、メキシコ政府より再度最高文化勲章アギラ・アステカ・プラーカ章受章。7.26日NHK「日曜美術館・ミロ〜記号が紡ぐ夢〜」に出演。
- 1988（昭和 63）年（67 歳）：インド、メキシコ訪問。11.26NHK「日曜美術館・古代の美と造形〜日本の考古学展から〜」に出演。
- 1989（平成 1）年（68 歳）：「第3回住まいの絵画コンテスト」（朝日新聞社主催）の審査委員長を務める。11.19NHK「日曜美術館・よみがえるアンデス文明〜国立民族学博物館大アンデス文明展から〜」に出演。
- 1990（平成 2）年（69 歳）：1月中国訪問。5月スペイン訪問。
- 1991（平成 3）年（70 歳）：5.21NHK「日曜美術館・桂ゆき〜ユーモアと風刺の精神〜」に出演。9月ロンドン訪問。
- 1992（平成 4）年（71 歳）：3月中国訪問。9月メキシコ、アメリカ訪問。11月再び中国訪問。
- 1993（平成 5）年（72 歳）：NHK「日曜美術館・現代の壁画を読む」に出演。
- 1994（平成 6）年（72 歳）：病床にありながら、聖徳大学クリスタルホールに制作する壁画のスケッチにとりかかる。4月14日心不全のため逝去。享年72歳。

会 期：平成25年6月10日(月)〜平成25年10月31日(木)
午前9時〜午後5時(休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

会 場：聖徳大学8号館 利根山光人記念ギャラリー

会場への案内：JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、
東口より徒歩5分

お問い合わせ：聖徳大学川並弘昭記念図書館

Tel:047-365-1111(大代) <http://www.seitoku.jp/lib/>

